



樹 念 記

発行 者
医療法人 大分記念病院

大分市羽屋9組の5
TEL 097 - 543 - 5005



ホームページアドレス <http://oitamh.jp>

2014年1月15日 Vol.105

謹 賀 新 年



皆様2014年、この新しい年を如何お迎
えでしょうか。

南アフリカ共和国ネルソン・マンデラ元大
統領の死去。特定秘密保護法案の強行採決。
何れも悲しい出来事でした。

年が明けても、なかなかに寿いで迎える
という気持ちにはなれません。

マンデラ元大統領は1991年に南アフ
リカ共和国のアパルトヘイト(人種隔離政
策)を廃止させ、民主化を実現させた卓越
した指導者として1993年ノーベル平和賞
を受賞。1994年大統領に選出され、南ア
フリカ共和国初の黒人政権を発足。大きな夢
と希望の実現を国際社会に示したことで世
界のカリスマとして歴史にその名が刻まれ
ました。

その功績を、私達は讃えるとともに国際社
会における実現に向けての努力を誓わねば
なりません。

一方、日本における特定秘密保護法案深

夜の強行採決。空しい悲しさです。国民の多
く的意思、国民文化を代表する人々も反対す
る法案を多数の力を行使して無理強いする
国家の在り様に大きな危機感を抱いていま
す。

日本のこの百年の歴史を振り返ってみると、
明治以降覇権主義を掲げて近隣の諸国と争
い、敗戦によつて全ての利権を失つてしまいま
した。その凄まじい喪失の総括もなしに、ま
た歴史を振り返ることもなしに、突き進めば
この国の行方は危ういものになりましょう。
太平洋戦争以前の戦争は措いても、太平洋
戦争以降の日本の歴史に如何に誤りが多い
ことが、太平洋戦争中の大本営発表が如何に
欺瞞に満ちたものであったかは私の僅かな体
験だけでもよく理解出来、歴史が証明してい
ます。

この上にどのような守るべき秘密がある
というのでしょうか。太平洋戦争中の特高
(特別高等警察)の暗躍は記憶に新しい所

です。

今一つ、エイズです。世界エイズレポート
2010年は「我々はエイズの流行をとめ、
押し返しています。」と勝利宣言をして、新し
い目標を①新しいHIV感染者ゼロ②差別
ゼロ③エイズ死亡ゼロを指すとなりました。
そして昨年、2013年のエイズレポートで
は、世界の新しいエイズ感染者の数はこの十
年間に33%減少したと発表。小児の新しい感
染者数は2015年にはゼロになるであろ
うと予測しています。

素晴らしいことです。世界を滅亡させるか
もしれないと危惧されたエイズ。人間の英知
はその危機を救うことに成功しました。

翻つて日本の現状はどうでしょう。同じ十
年間に世界で唯一、新しいHIV感染者数が
二倍に、エイズ発症者数は一・六倍に増加し
ています。

これはまたどうしたことでしょう。日本が
今取らねばならない目標は新しいHIV感
染者数をゼロにすることではありませんか。

昨年は気象異常も天災もことに厳しい年
でした。その原因でもあろう地球に優しく、
世界中の人々が平和に過ごせる日を目指し
て、微力を尽くしたいものです。

痛みについて

「痛み」と聞いた時にどんなことを思い浮かべますか？私は、注射を刺された時の痛みを思い浮かべます。

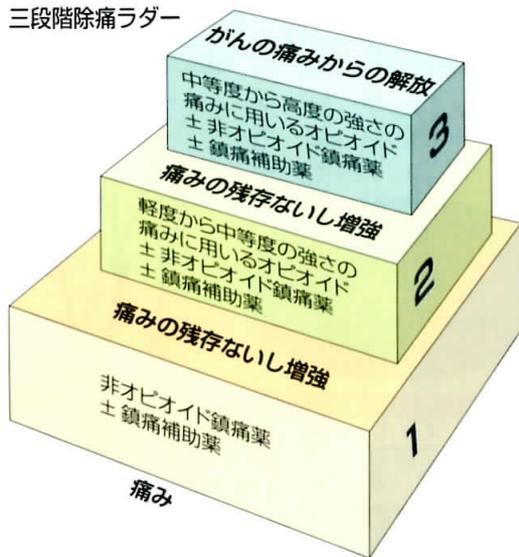
国際疼痛学会は「痛み」とは、「①実際に何らかの組織損傷が起こった時、あるいは②組織損傷が起こりそうな時、あるいは③そのような損傷の際に表現されるような、不快な感覚体験および情動体験」と定義しています。①と②は、「侵害受容性疼痛」や「神経障害性疼痛」といい、怪我をしたときの痛みや坐骨神経痛のしびれ感で、日常的に感じています。③は、記憶の片隅に残る痛みで、思い出すとゾッとする「トラウマ」とい言葉に置き換えれば想像しやすいかもしれません。

このような「痛み」に対しては、消炎鎮痛薬(例：ロキソニン)や神経障害性疼痛治療薬(例：リリカ)などで対応できます。しかし、消炎鎮痛薬の作用時間は4〜6時間で、作用時間を考えると1日に最低4回の「痛み」を自覚することになります。

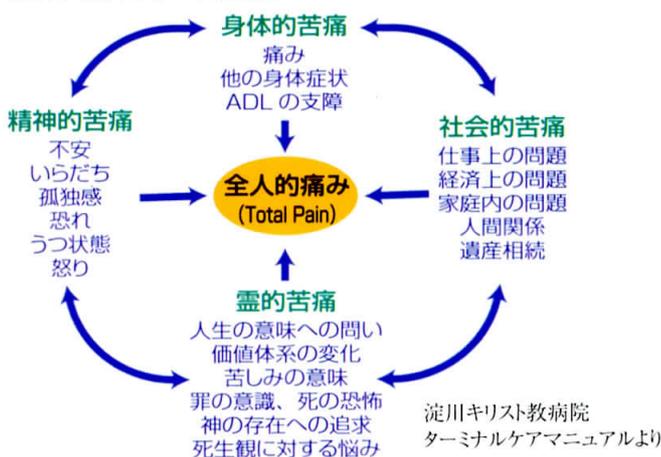
(図1) 鎮痛薬使用5原則

経口的に	by mouse
時間を決めて規則正しく	by the clock
除痛ラダーに沿って効力の順に	by the ladder
患者ごとの個別的な量で	for the individual
その上で細かい配慮を	with attention to detail

(図2) 三段階除痛ラダー



(図3) 淀川キリスト教病院ターミナルケアマニュアルより



そして、「身体的な痛み」は、「精神的な痛み」に移行します。このように「痛み」は、心身ともに生じるので、定期的に内服し、「痛み」を感じないことが大事です。

世界保健機関は、鎮痛薬使用法を5原則として提案しています(図1)。そして、薬剤について3段階で

示しています(図2)。図2では、「痛み」が少しでもあれば、鎮痛薬を増量、追加し、「痛み」を緩和することを推奨し、オピオイド鎮痛薬(すなわち医療用麻薬)も積極的に使用することも推奨しています。これは、安全に使用できるからです。

また、図3に示していますが、身体的苦痛や精神的苦痛の他、社会的苦痛、霊的苦痛も「痛み」であり、合わせて「全人的な痛み」と表現します。「痛み」を緩和するには、内科や精神科の医師が処方する薬以外に

も身近なソーシャルワーカーやケアマネージャー、市役所の相談窓口などに相談することで緩和できる「痛み」もあります。

最後に、「痛み」を他人と分かち合うことは難しいです。しかし「今の痛み」を緩和し、付随する「他の痛み」も緩和できたなら、今より「幸せ」を感じられると思います。「私は今、〇〇が痛いですー」と遠慮せず声に出してください。手伝えることがあるかもしれませんよ。(佐藤栄一)

講演

「少産少子化対策—加齢と生殖—」



昨年11月21日(木)に開催された定例研修会では、大分大学名誉教授の宮川勇生先生をお招きして、「少産少子化対策—加齢と生殖—」と題して講演をしていただきました。分かりやすく大変有意義なお話を聞かせていただき、誠にありがとうございました。

以下は宮川先生に執筆していただいた講演の抄録です。

ヒトの生命に限りがあるように、生殖機能・妊孕力もいつまでも同じようではない。医療においては、受診者がこのような「ヒトの自然史」や「生殖の自然史」を知っていれば防ぐことができる諸問題にしばしば遭遇する。女性の生殖機能は卵巣の予備能に依存し、その低下は30歳に始まり、35～40歳で著明となる。さらに、40歳を超えると不妊・不育の状態となり、その10年後には閉経を迎える。また、自然妊娠の可能性は44歳でなくなる。このように女性の生殖機能は男性のそれとは大きく異なり、性差がみられる。

この50年間における女性の社会環境は、教育、経済、社会進出などで大きく変化し、また、結婚や妊娠・出産についての考え方も影響した。初婚年齢は高齢化／晩婚化し、女性の2012年の平均初婚年齢は29.2歳、なかでも35歳以上の初婚の占める割合は10%を超えている(35～39歳の初婚率:1950年1.2%、1980年2.2%、2000年4.5%、2010年12.2%)。このように結婚年齢が生殖年齢の前半から後半へ移行してきている。ヒトの35～40歳、さらにそれ以上の年齢は動物学的には生殖年齢の末期から老年期にあたる。また、この年齢では卵巣因子をはじめ、子宮因子、諸内分泌因子の機能低下、そして加齢とともに増加する女性特有(子宮や卵巣)の疾患や性感染症などによって生殖機能・妊孕力の低下する時期でもある。しかし、この時期の月経や身体的変化は30歳以前の状態と変わらないため、さらに、化粧などにより若々しく保てるため、自身でその低下を知ることは困難である。

これまで、少産少子化対策として不妊症や子育て支援が社会問題となり、医療への経済支援や社会環境の改善策が論議されてきたが、なかでも不妊治療に対する解決策は体外受精・胚移植などの「生殖補助医療」の進歩に委ねられてきた。殊に、女性週刊誌に見られる高齢女優の出産記事などで、40歳を超えても、いつでもどこでも妊娠・出産できるものと思いつている女性があまりにも多い。さらに、この時期の生殖機能の低下は「生殖補助医療」で補われていることを多くの女性が気づいていないし、また、「生殖補助医療」を過大に評価している。このような社会環境にある女性は、結婚年齢も遅くなり、さらに、不妊治療開始の年齢も35歳を超え、20年前より5歳遅れ



講師 宮川 勇生 先生

ている。そのため、治療対象者の35%が40歳以上で占められている。

「生殖補助医療」に関する多くの報告でも、妊娠率は30歳未満のそれと比較すると25%低下、流産率は高く、児を得る率は半減する。さらに、37歳を超えると加速度的に妊娠率は低下し、加齢が生殖機能・妊孕力の障害となっていることは周知のことである。

わが国で2011年に「生殖補助医療」によって生まれた出生児数は、32,426人で、年間総出生児数の3.1%を占める。32.4人に1人は高度の不妊治療によって生まれていることになる。

また、最近の報道では2004年に始まった「生殖補助医療」に対する公費助成は、42歳までに6回と年齢制限が加わり、2016年からの施行が決定された。これは、高度の不妊治療を行っても、42歳を超えると、受精・着床は困難で、例え妊娠できたとしても、流産・早産や染色体異常児の頻度が高く児を得ることが困難で、さらに妊娠高血圧症候群、前置胎盤、常位胎盤早期剥離などの合併症のため母体の危険を伴うことが多いことを意味する。

一方、医学としての「生殖補助医療」はSteptoeとEdward(1978)による歴史的なヒトの体外受精・胚移植による妊娠・出産例の嚆矢から35年間にめざましい進歩を遂げ続けてきている。しかし、その技術も臨床応用の領域ではほぼ到達点に達し、これ以上の向上は期待できない。

さらに、大きな視点から我が国の将来人口をみると、1953年に8,698万人で、1967年に10,000万人を超えた人口は2048年には9,913万人、2060年には1953年以前の人口の社会となる。

これから不妊で悩む夫婦を少なくするためにも、また、不妊治療の効果を上げるためにも、さらに少産少子化対策としても、「生殖補助医療」の長足の進歩の影で置き去りにされてきた感のある「女性の生殖機能に関する自然史の教育」が、今こそ重視されねばならない時期にある。

講演

「南海トラフ巨大地震への
備えについて」



講師
神志那 貴雅 先生

昨年10月10日(木)の定例研修会では当院の医療安全対策教育の一環として、大分県生活環境部防災危機管理課参事 神志那貴雅先生と、大分県福祉保健部医療政策課課長補佐 笹原良宣先生に、ご講演いただきました。

最初に講演された神志那先生のお話では、まず最近の大分県の災害の特性として、気象災害の9割は台風、梅雨、低気圧による水害、土砂災害であること。そして、何かと話題の南海トラフ地震については、今後30年以内に60～70%の確率で発生し、いつ自分の身に起きてもおかしくないという危機感を常日頃から持つ必要があるとのこと。また、地震発生から5分以内に高台などに避難することで死者数が推定で97%軽減とするという被害想定があり、まずは「逃げる」ことが重要であると話されました。大分県の備えとしては、地域ごとの日頃からの避難訓練支援や災害・避難情報配信など、大規模災害におけるいろいろな対策や体制を整備していることを知りました。

「災害医療体制の
整備について」



講師
笹原 良宣 先生

続いて笹原先生のお話では、災害医療体制について、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災の教訓から、災害時の応援協定の締結、情報ネットワークの構築、震災時に医療を提供する病院の整備など本格的な対応が始まったとのこと。東日本大震災や近年の災害から、大分県では災害拠点病院の指定、広域災害・救急医療情報システム(EMIS)の整備、災害派遣医療チーム(大分DMAT)を整備するなど、今までの実績や活動について詳しく教えていただき、大変勉強になりました。

今後の災害対策として、「備えあれば憂いなし」の精神で自然災害には早めの対応を心がけたいと思いました。

お忙しい中ご講演下さいました神志那先生、笹原先生、誠にありがとうございました。(文責 堀田 和幸)



講演

「感染症対策について
～大分市の感染症の現状～」



講師 渡邊 加央里 先生



昨年9月19日(木)の定例研修会は、大分市保健所健康課感染症対策担当班保健師の渡邊加央里先生を講師に迎え「感染症対策について」をテーマに、大分市の感染症の現状をお話していただきました。

結核については70歳以上の感染者が多く、現在でも罹患率は少なくないというお話がありました。結核菌への暴露に安全域はなく、リスクゼロでは決まてないことや、高齢者の肺結核早期診断が困難であること、発生時の対応が重要であることなどを説明されました。

また、腸管出血性大腸菌やこれから流行する感染性胃腸炎についての特徴や対策についても具体的にお話がありました。感染防止のため、手洗いやマスク着用など標準的予防措置を徹底することが重要であるとのことでした。

今回の研修会で学んだことを実践していき、今後も感染症対策をしっかりと行っていきたいと思います。渡邊先生お忙しい中、貴重なご講演をありがとうございました。

(文責 小代 裕美)

講演



「笑って元気 ～お互いさま～」

講師 矢野 大和 先生



昨年9月12日(木)の定例研修会は労働安全衛生教育の一環として、おおいた観光特使である矢野大和先生をお迎えして「笑って元気～お互いさま～」という演題で、心の健康についての口演を聞かせていただきました。

1997年に初めて矢野先生を当院にお招きして以来、今回で5回目の口演となりました。矢野先生の口演は毎回大好評で、皆さんこの日を心待ちにしていました。

当日は職員をはじめ入院患者さんにもお集まりいただき、満員となった会場の中、今回も期待通りの楽しいお話をお聞きすることができ、会場は終始笑いの渦に包まれました。

先生には日常生活での体験談を基に、信頼関係を築くために心がけなければならないことやコミュニケーション術について、わかりやすくお話していただきました。人の話を聞くとき

は「相手の目を見て、頷く。」という行為で意思表示をすることで、お互いの意思の疎通ができ、話し手も気持ち良く話しやすくなるということを教えていただきました。

最後に、話題を一つ続編にしておくこと聞き手が興味や期待感を持ち、再び話を聞きたくする、といった裏技的話術も教えていただきました。

意識して相手を思いやることや、ちょっとした気配りをすることで人間関係がスムーズにいくという、日常心がけるべきお話も随所に聞くことができ、大変勉強になりました。

先生の優しいお人柄を感じる、またユーモアあふれたお話で、あっという間の1時間でした。出席された皆さんは身も心も満足して笑顔で会場を後にしていました。

(文責 中島 三枝)



大分ヘモフィリア友の会

クリスマス会



大分ヘモフィリア友の会クリスマス会が、昨年12月8日(日)に当院の多目的ホールで行われました。今年も子供達の参加があり、友の会のメンバー9名と病院スタッフ7名の計16名の会となりました。

はじめに、大分ヘモフィリア友の会会長から2013年を振り返っての挨拶がありました。その後、広島友の会が作成したクイズをスクリーン上に映し出し、大人も子供も一緒になって考えました。子供達はほとんど満点に近い成績で、大人達はすっかり感心させられました。友の会会長の解説を聞きながら、改めて血友病の知識を学ぶことができ、有意義な時間を過ごしました。

そして、皆でお菓子を食ったり、子供達の近況を聞いたりして、おしゃべりを楽しみました。スポーツに励んでいる話や修学旅行で海外に行く話など、子供達の成長を感じる時間となりました。

最後に毎年恒例の写真撮影。今年も友の会の皆さんと楽しくクリスマス会ができたことを嬉しく思っています。

創立33周年記念式典



永年勤続表彰者



大分記念病院創立33周年の記念式典が、昨年12月5日(木)当院の多目的ホールで行われました。

まず始めに豊田理事長から挨拶があり、病院の年譜をスライドを交えての説明がありました。引き続き、今年度の永年勤続者33名の表彰が行われました。

永年勤続表彰者は以下の通りです。(敬称略)

■30年勤続(2名)

外池 美津子(看護部) 東 美幸(看護部)

■25年勤続(2名)

中島 三枝(臨床検査科) 森永 富美(看護部)

■20年勤続(1名)

岩崎 信子(臨床検査科)

■15年勤続(11名)

宮川 ミカ(看護部) 木下 恵(看護部) 金田 美紀(看護部)
田邊 かおり(看護部) 竹下 郁美(看護部) 西田 匡世(看護部)
小野 千香子(看護部) 古谷 悟千(リハビリテーション科)
大塚 千寿(医療事務課) 秦 由紀乃(竹田クリニック看護部)
山口 清美(竹田クリニック栄養科)

■10年勤続(7名)

河野 美佳(看護部) 遠藤 由香里(看護部)
前田 哲志(リハビリテーション科) 永沼 舞(放射線科)
安東 浩子(医療事務課) 河野 美鈴(竹田クリニック看護部)
粟生 千寿子(竹田クリニック栄養科)

■5年勤続(11名)

住江 昭啓(診療部) 小原 えみ(看護部) 宮成 美子(看護部)
池永 梨菜(看護部) 安井 早苗(看護部) 豊田 瞳(臨床工学室)
尾辻 健太(医療福祉相談室) 金森 博美(リハビリテーション科)
高橋 奈美江(栄養科) 後藤 尚美(竹田クリニック看護部)



受賞者を代表して、臨床検査科の岩崎信子さんが謝辞を述べました。

最後に、昨年6月16日以降に入社した園田圭子さん、佐々木真里子さんから自己紹介の一言スピーチがあり、式典は終了となりました。

がん患者
支援チャリティー
イベント

リレー・フォー・ライフ 大分2013

リレー・フォー・ライフとは、がん患者さんやご家族そして支援している方々が公園やグラウンドを会場にして交代で24時間にわたり歩き続けることで、「がん征圧」への願いや「がん」に対する理解、そして絆を深め合うチャリティーイベントです。

その始まりは、1985年にアメリカ人外科医が、がん患者さんを励まし「対がん運動組織」に寄付することを目的に、「がんは24時間眠らない」「がん患者は24時間闘っている」をメッセージとしてフィールドを24時間走ったことによるものです。

今回6回目となるリレー・フォー・ライフ大分は、9月14日(土)午前11時から15日(日)午前11時まで、大分スポーツ公園「大芝生広場」で開催されました。前日の準備段階から天候に恵まれ、今回は延べ5700名と過去最大の参加者があり、「あなたの笑顔に会いたくて」のスローガンにふさわしい大会となりました。

当院スタッフのチーム「PEACE OF HEART」は、初回から毎年参加していますが、今回もチームフラッグを元気よく掲げて1周410mのコースを交代で歩きました。

また、チームテントの企画では今回もバナナの販売をしました。大変な反響があり、初日の午後には完売しました。他にも屋台やゲームなどの出店が多く、ステージではダンスパフォーマンスやバンド演奏などが催され、賑やかにイベントを盛り上げていました。

夕暮れになると会場の照明が消され、ルミノリエ(キャンドルライト)に灯がともりました。歩道を優しく照らして、とても幻想的な風景に感動させられ温かい気持ちになりました。

サバイバーの方や参加された方々との交流もあり、最後まで笑顔の絶えることのない大会となりました。来年もまた「あなたの笑顔に会いたくて」歩き続けたいと思います。

(文責 三浦 英洋)



忘年会



昨年12月14日(土)19時30分より大分レゾナントホテルで大分記念病院の忘年会が開催されました。

豊田先生の開会挨拶と末友先生の乾杯の音頭で始まり、それぞれのテーブルで豪華な料理を味わいながら歓談していると、恒例の新入職員余興がスタート。

竹田クリニックのスタッフによる「クリスマスソング」でオープニングを飾り、続いて1階スタッフと佐藤栄一先生の息のぴったり合った可愛らしいダンスでAKB48「恋するフォーチュンクッキー」。そして、看護部スタッフが元気良くSMAPの「JOY!」を踊れば、臨床工学室の3人は矢島美容室「キネノミカタ、トウセキツカラキマシタ」で切れの良いパフォーマンス。ゴールドのドレスがとてもゴージャスで、ステージを下りた後もしばらく会場に華を添えていました。最後に、レクレーション委員長自らステージに上がってBOOWY(ボウイ)の「ONLY YOU」を歌い、さながらライブ会場のように盛り上がった後、トリを飾ったのは当院お馴染みの歌姫K嬢。2曲ほど熱唱して、盛大な拍手と共に余興を締めくくりました。



一息ついたところで定番のビンゴゲームが始まり、景品を巡っての争奪戦が繰り広げられました。最後は高田先生の閉会挨拶、そして向井先生の万歳三唱で幕を閉じました。

今年は、大分記念病院もまた新たな一歩を踏み出す飛躍の年となります。より一層、職員同士の絆を深め、未来に向かって真っ直ぐに歩いていくつもりです。



編集後記

あけましておめでとうございます。
 昨年は2020年東京夏季オリンピック招致、球団創立9年目での東北楽天イーグルス優勝など明るいニュースがある一方で、高田名誉理事長が巻頭言で述べているように、南ア共和国のマンデラ元大統領死去、特定秘密保護法案の強行採決などの悲しい出来事や、山陰地方の豪雨、大型台風災害など災害に対して考えさせられる出来事も起こりました。
 巨大地震への備えについての講演会記事にもありますように、今一度身の回りの状況を把握し、自然災害への備えについて考えてみてはいかがでしょうか？
 今年度もどうぞよろしくお願いたします。(広報委員長 堀田)

作りま専科
ぶりのマスタード和え

材料(2人分)	青ねぎ ……2本
ぶり(かたまり) ……150g	しょうが ……5g
A	砂糖 ……小さじ2
	鷹の爪(小口切り) ……1/2本分
	濃口醤油 ……小さじ2
	酒 ……大さじ2
	にんにく ……1片
ごま油 ……小さじ1	粒マスタード ……小さじ2
	青しそ ……2枚

作り方

- ① ぶりのブロックを長めの棒状となるよう、2~3等分に切り分ける。
 - ② にんにくは麺棒などで押しつぶし、Aの調味料と一緒に混ぜ合わせしておく。清潔なビニール袋にAと①を入れて揉み込み、20分程度漬けておく。
 - ③ 青ねぎは長さ3cmの斜め切り、しょうがは極細の線切りにし、鷹の爪と一緒に、耐熱ガラス製かステンレス製のボウルに合わせしておく。
 - ④ サラダ油を入れた鍋を火にかけ、煙が出るまで熱する。煙が出てきたサラダ油を③の青ねぎ、しょうが、鷹の爪の上に、全体に行き渡るように回し掛ける。そこに塩を加え、全体を混ぜておく。
 - ⑤ ②のぶりをビニール袋から出し、キッチンペーパーで水気をふき取り、斜めにスライスする。
 - ⑥ ④のボウルに⑤を入れてよく混ぜ合わせ、粒マスタードと線切りにした青しそを入れ、軽く混ぜ合わせる。味を見て、足りなければ漬け汁を加えて味を調整する。
- ※使用する魚は、旬の脂の乗った青魚、サーモンなどでも良いです。

●ぶりは生活習慣病、記憶力低下、認知症を予防するIPA、DHAの宝庫
 ぶりは脂肪が多く、濃厚な味わいの赤身魚です。脂肪にはIPA(イコサペンタエン酸)やDHA(ドコサヘキサエン酸)がたっぷり含まれています。IPAは、血液の流れをスムーズにし、血圧を下げるほか、悪玉コレステロールを除き、善玉コレステロールを増やす働きや、中性脂肪値を下げたり、胃腸や皮膚などの炎症を予防します。動脈硬化、心筋梗塞、脳卒中、高血圧などの疾患の予防に役立ちます。DHAは、記憶力の低下を防ぐ効果があるとされています。また、狭心症、高血圧、脂質異常症などの予防や改善にも効果が見込まれています。ただし、脂肪が多くカロリーは高いため、食べ過ぎは肥満につながってしまいます。

がん患者さんやそのご家族、介護援助者の方々の交流会です。

リレー・フォー・ライフ
大分サロンのご案内

毎月第3日曜日 午前10:00~12:00

当院1階多目的ホールで開催しています。

一般の方も自由にご参加ください。会費は不要です。

医療法人 大分記念病院

- 基本理念**
- 1) 私達は病院各部門が一致協力して、患者中心のチーム医療を実践することにより、患者満足度と幸福に貢献します。
 - 2) 私達は常に診療レベルと看護ケアの向上を図ると共に地域住民に安全で良質の医療を提供します。
 - 3) 私達は地域の医療・福祉機関との緊密な連携を保ちながら地域完結型医療を実践します。

- 基本方針**
- 1) 専門的医療レベルと医のアートを兼ね備えた医師による全人的医療を患者の皆様へ提供します。
 - 2) 患者の皆様立場に立って、信頼と安全の確保に全力を尽くします。
 - 3) 患者の皆様満足度を高めるべく、心のかもった医療サービスに努めます。

大分記念病院ホームページはこちらから

大分記念病院

検索

